

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	4
事業名	子育て支援センター事業	会計	款	項	目
		一般	3	2	3
施策	2	人にやさしいまち	課名	子ども家庭課	
	2-3	安心して子育てのできるまちをつくる	係名	子ども支援係	
	2-3-1	子育て支援の充実			
主要施策	④相談・援助体制の充実		⑤親育ちの支援		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	未就園の幼児とその保護者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	未就園の幼児とその保護者を対象に、保育園、幼稚園の場所を提供し、保護者とのコミュニケーションを持っていただくことにより住民の子育て支援を図る。
事業内容	月～金まで、「なかよし広場」を開催するとともに、月2回各園を開放するちびっこパークを実施する。また月2回各地区に向いて行う「おでかけ広場」を実施し、未就園の幼児とその保護者を対象として受入れを図る。その中で、子育てに係る悩み相談や育児相談を行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
		平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B				7,078	7,017	7,243		
財源内訳	直接事業費 A				2,638	2,577	2,803	
	うち一般財源				2,638	2,577	2,803	
人件費(千円) B				4,440	4,440	4,440		
内訳	一般職員(人・千円)		0.4	2640	0.4	2640	0.4	2640
	臨時職員(人・千円)		1	1800	1	1800	1	1800

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	産後うつなどの育児不安の軽減や子育て中の親子の交流促進のため利用可能な対象者の見直しと安心して過ごせるスペースの確保が必要である。
②H30年度に実施した取り組み	関係機関や子育て支援活動を実施する団体等と連携を図り、各種事業を行うとともに、子育て等に関する相談をお受けし、必要に応じて関係機関につないだ。	④今後の改善計画	対象月齢の引き下げと子育て支援センターの移設について検討する。